

### 特殊な構造を有するエレベーターの検査結果表の記入例

特殊な構造を有する部分の検査については、「上記以外の検査項目」欄に記入してください。

#### ① 可変速方式エレベーター 抹消項目

別記第一号(主索又は鎖で吊るエレベーターの検査結果表) から抜粋

番号	検査項目	検査結果			既存不適格	担当検査者番号
		指摘なし	要重点点検	要是正		
1	機械室(機械室を有しないエレベーターにあつては、共通)					
(19)	速度 定格速度( 60 m/min)	上昇 60 m/min	下降 60 m/min			定格速度(60)モード時の測定値を記入する。
2	共通					
(1)	かご側調速機	過速スイッチの作動速度 (定格速度の %)	m/min			
		キャッチの作動速度 (定格速度の %)	m/min			抹消線を引く。
(2)	釣合おもり側調速機	キャッチの作動速度 (かご側キャッチの作動速度の %)	m/min			

#### ② 特殊な可変速方式エレベーター 抹消項目(三菱製スーパー可変速)

別記第一号(主索又は鎖で吊るエレベーターの検査結果表) から抜粋

番号	検査項目	検査結果			既存不適格	担当検査者番号
		指摘なし	要重点点検	要是正		
1	機械室(機械室を有しないエレベーターにあつては、共通)					
(19)	速度 定格速度( m/min)	上昇 m/min	下降 m/min			
2	共通					
(1)	かご側調速機	過速スイッチの作動速度 (定格速度の %)	m/min			
		キャッチの作動速度 (定格速度の %)	m/min			抹消線を引く。
(2)	釣合おもり側調速機	キャッチの作動速度 (かご側キャッチの作動速度の %)	m/min			

#### ③ 主索に平形ロープを使用しているエレベーター 抹消項目

別記第一号(主索又は鎖で吊るエレベーターの検査結果表) から抜粋

番号	検査項目	検査結果			既存不適格	担当検査者番号
		指摘なし	要重点点検	要是正		
2	共通					
(3)	主索又は鎖	径の状況 最も摩耗した主索の番号 ( ) 直径( mm) 未摩耗直径( mm) % 素線切れ 最も摩損した主索の番号 ( ) 該当する素線切れ判定基準 ( ) 素線切れが生じた部分の断面積の割合 70%超・70%以下 1より1ピッチ内の最大の素線切れ数 本 錆びた摩耗粉により谷部が赤錆色に見える部分 (あり・なし) 谷部が赤錆色に見える主索の番号 ( ) 直径( mm) 未摩耗直径( mm) 1構成より1ピッチ内の最大の素線切れ数 本 該当する錆及び錆びた摩耗粉判定基準( ) 主索本数( 本) 要重点点検の主索の番号( ) 要是正の主索の番号( ) 鎖 摩耗 最も摩耗した鎖の番号( ) 伸び % 測定長さ( mm) 基準長さ( mm) 鎖本数( 本) 要重点点検の鎖の番号( ) 要是正の鎖の番号( )				抹消線を引く。

#### ④ リニア式エレベーター 抹消項目

番号	検査項目	検査結果			既存不適格	担当検査者番号
		指摘なし	要重点点検	要是正		
1	機械室(機械室を有しないエレベーターにあつては、共通)					
(3)	機械室床の貫通部					
(10)	階床選択機					
(11)	減速歯車					
(12)	綱車又は巻胴					抹消線を引く。
(13)	軸受					
(16)	電動機					
(17)	電動発電機					
1(15)	そらせ車					
4(5)	頂部綱車					「頂部そらせ車」があるためどちらかが対象

特殊な構造を有するエレベーターの検査結果表の記入例

① 可変速方式エレベーター 追加項目

別記第一号(主索又は鎖で吊るエレベーターの検査結果表) から抜粋

番号	検査項目	検査結果			既存不適格	担当検査者番号
		指摘なし	要重点点検	要是正		
8	上記以外の検査項目					
(1)	2(1) かが側調速機 過速スイッチの作動速度 112 m/min (最大速度 90 m/minの 124 %) キャッチの作動速度 120 m/min (最大速度 90 m/minの 133 %)					
(2)	2(2)釣合おもり側調速機 キャッチの作動速度 125 m/min (かが側キャッチの作動速度の 104 %)					
(3)	電子化終端階強制減速装置					

認定内容により記入する。

定格速度 60 m/min、中間負荷定格速度 90 m/minの場合の記入例

② 特殊な可変速方式エレベーター 追加項目(三菱製スーパー可変速)

別記第一号(主索又は鎖で吊るエレベーターの検査結果表) から抜粋

番号	検査項目	検査結果			既存不適格	担当検査者番号
		指摘なし	要重点点検	要是正		
8	上記以外の検査項目					
(1)	1(19) 速度 定格速度( 60 m/min) 上昇 75 m/min 下降 72 m/min					
(2)	2(1) かが側調速機 過速スイッチの作動速度 130 m/min (最大速度 105 m/minの 124 %) キャッチの作動速度 140 m/min (最大速度 105 m/minの 133 %)					
(3)	2(2)釣合おもり側調速機 キャッチの作動速度 146 m/min (かが側キャッチの作動速度の 104 %)					
(4)	電子化終端階強制減速装置					

認定内容により記入する。

定格速度 60 m/min、中間負荷定格速度 105 m/minの場合の記入例

③ 主索に平形ロープを使用しているエレベーター 追加項目(オーチス製)

別記第一号(主索又は鎖で吊るエレベーターの検査結果表) から抜粋

番号	検査項目	検査結果			既存不適格	担当検査者番号
		指摘なし	要重点点検	要是正		
8	上記以外の検査項目					
	平形ロープ	MFL	DI (破損係数)	判断基準		
			6.60未満	良好		
	<input type="checkbox"/> 300(厚さ)×30.00(幅)mm( )本		6.60~7.00	要重点点検		
	<input type="checkbox"/> 300(厚さ)×60.00(幅)mm( )本		7.00を超える	要是正		
	要重点点検ロープNo.( )、要是正ロープNo.( )					
	平形ロープ	RBI	LED表示	判断基準		
	<input type="checkbox"/> MFL使用 DI値( )		点減1回	良好		
	<input type="checkbox"/> RBI使用 点減回数( )		点減5回	要重点点検		
			点減6回	要是正		
	外観の状態		判定基準			
	コードが外部より見える又は露出した状態		要是正			
	ウレタンジャケットに恒久的な変形がある		要是正			

MFL・RBI共通

MFL使用の場合

RBI使用の場合

いずれかを選択し、レでチェックする。

MFL・RBI共通

④ リニア式エレベーター 追加項目(オーチス製)

番号	検査項目	検査結果			既存不適格	担当検査者番号
		指摘なし	要重点点検	要是正		
8	上記以外の検査項目					
(1)	上部二次側固定子取り付け部					
(2)	二次側固定子					
(3)	リニアモーター					
(4)	リニアモーターガイドローラー					
(5)	可動・固定子間隔異常検出					
(6)	下部二次側固定子取付部					